

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

登半島沖で、七月には新潟県中越沖で大きな地震が発生し、多くの方が被害を受け、避難所での生活を余儀なくされました。国外では、バングラデシュの南西部で大型のサイクロンが発生し、三、四四七人の死者が出る等大きな被害をもたらしました。

平成二十年一月
日本赤十字社鹿児島支部長
伊藤 祐一郎

新年あけましておめでとうございます。
皆さま方には、日頃から赤十字活動にあたたかいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
さて世界各地では、依然としてテロや紛争、自然災害が後を絶たず、また貧困等による疫病が蔓延するなど、今もなお多くの人々が救いの手を求めています。

本年も昨年に引き続き、人道の旗印の下に人道支援事業を積極的に推進してまいりますので、なにとぞご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



支部長 新年の挨拶

日本赤十字社においては、このような国内外の災害に対し、医療救護班の派遣や救援物資などの人道支援事業を速やかに実施することも、義援金や救済金の募集を積極的に進めています。



十一月八日(木)、日本赤十字社名誉副総裁高円宮妃殿下のご臨席を仰いで、平成十九年度九州八県支部連合赤十字大会が鹿児島市民文化ホールで開催されました。

ご功勞・ご功績に対し顕彰するとともに、本大会を契機として、日本赤十字社の社旨を広め、活動内容の充実を図り、赤十字事業の更なる発展を目的として、毎年九州各県支部の持ち回りで開催されています。



まず表彰式では、はじめに高円宮妃殿下から有功章受章者(金色有功章七十五人、銀色有功章百二十四人)に有功章のご授与が行われました。次に、近衛社長より社長感謝状(七十八人)が授与されました。

九州八県支部連合赤十字大会

ご功勞・ご功績に対し顕彰するとともに、本大会を契機として、日本赤十字社の社旨を広め、活動内容の充実を図り、赤十字事業の更なる発展を目的として、毎年九州各県支部の持ち回りで開催されています。

和温療法について

鹿児島赤十字病院 リウマチ科 児玉国洋 医師

近年、和温療法という治療が注目を浴びています。これは、鹿児島大学病院循環器・呼吸器・代謝内科学の鄭忠和教授らが、血管を拡張する温浴の効果に着目して開発し、実績を重ねている科学的な湯治ともいえる全身療法です。以前は、低温サウナ療法と呼ばれていましたが、「がんに対する高温での局所療法」などと区別するために、昨年四月、鄭教授らによって「和温療法」と命名されました。既に、心疾患や閉塞性動脈硬化症に対する有効性は確認され、県内外の医療施設で採用されています。その作用機序ですが、「乾式サウナ」に入ることによって全身血管が拡張し、心臓に対する負担が減少するため心機能が改善し、心臓から駆出される心拍出量が増加する。すると血流量が増加し、血流増加で血管内皮が刺激され、血管新生が進む」といいます。

治療の具体的な方法ですが、まず、薄いガウンを着用し、室内を六十℃に保たれた、家庭用の大型冷蔵庫程度の大きさの小型和温治療器に入ります。十五分経過したら治療器を出て、バスタオルや毛布で全身を覆ってベッドに横になり、三十分間の安静保温をします。最後に発汗量を見合った水分補給をします。これを一日一回、症状に応じて週二〜五回繰り返します。



鹿児島赤十字病院 リウマチ科 児玉国洋 医師

最近、治療効果として血管拡張だけでなく、自律神経やホルモン分泌のバランス回復、心身をリラックスさせる働きも確認され、加えて、増加する。すると血流量が増加し、血流増加で血管内皮が刺激され、血管新生が進む」といいます。治療の具体的な方法ですが、まず、薄いガウンを着用し、室内を六十℃に保たれた、家庭用の大型冷蔵庫程度の大きさの小型和温治療器に入ります。十五分経過したら治療器を出て、バスタオルや毛布で全身を覆ってベッドに横になり、三十分間の安静保温をします。最後に発汗量を見合った水分補給をします。これを一日一回、症状に応じて週二〜五回繰り返します。

錦江園 長寿を多くの方がお祝い

「錦江園敬老祝賀会」を多くの来賓・家族の御出席をいただき盛大に開催することができました。百歳を迎えられた帖佐八郎工様に内閣総理大臣と鹿児島県知事からの祝状と記念品が伝達されたのち鹿児島市長からお祝いの言葉と八十八歳以上の方へ祝品が贈呈されました。また、日本赤十字社鹿児島支部や家族会、錦江園それぞれから利用者全員に祝品が贈られ、特に今回は、鹿児島県赤十字有功会から「利用者の皆様方の楽しい幸せな園生活を願います」とエアーマット四台をいただきました。



日本赤十字社鹿児島支部 URL: http://www.minc.ne.jp/nisseki/ E-mail: shibu-rc@po.minc.ne.jp

献血推進キャンペーン

「輸血をつける患者さんのために「四百mL献血・成分献血」への協力をお願いします。」

現在、医療機関からの血液の要請は輸血をうける患者さんのためにウイルス感染や副作用の少ない、四百mL献血や成分献血が大半をしめています。血液センターでは医療機関の血液需要をあらかじめ予測し、これに沿って献血をお願いしておりますが、鹿児島



県においては毎年十二月中旬から四月中旬まで輸血用血液がたいへん不足する傾向にあります。これは年間を通して血液の需要がほぼ一定であるのに対し、冬季から春先にかけては風邪など体調を崩す方が多いことや、学校や企業、団体などの協力が得られにくくなり、献血者が全体的に減少することが要因として挙げられます。血液センターでは輸血用血液の安定的な確保を図るため、冬季から春先にかけて徐々に

献血推進にかかるイベント又はキャンペーンを実施し、四百mL献血及び成分献血への協力を願っています。
【一】初詣献血（平成二十年一月二日～三日：鹿児島市照国神社）
年始における輸血用血液を安定的に確保するため、照国神社のご理解により平成九年から実施しております。毎年一日あたり百名を超える献血者のご協力をいただき、最近では年に一回この機会に献血

協力をしてくださる方も増加しています。献血会場にご来場いただいた方には「福袋」を呈呈しています。
「年のはじめにいいことしよう！初詣献血にご協力をお願いします。」
【二】「はたちの献血」キャンペーン（平成二十年一月～二月：県内全献血会場）
新たに成人式を迎える「はたちの若者を中心として」、広く県民の皆様が献血への理解と協力を求めるとともに、成分献血、四百mL献血をお願いすることにより、冬季における血液の安定的な確保につながることを目的として、国、県及び日本赤十字社共催で昭和四十九年から実施しております。
（一）日時
平成二十年一月十三日（日）午前十時
（二）場所
鹿児島市山形屋一号館前
（三）参加団体
鹿児島県山ライオンズクラブ、鹿児島県保健福祉部業務課、鹿児島市保健所、鹿児島県学生献血推進協議会、鹿児島県赤十字血液センター、他
期間中（一月～三月）各献血会場にて、四百mL献血にご協力頂いた方に「栄倉奈々オリジナルクリアファイル」をプレゼントいたします。県民の皆様のご協力をお願いします。
【三】「いつしよに献血」キャンペーン（平成十九年三月～四月：県内全献血会場）
献血者が減少する三月～四月における血液の安定確保と若年層への献血思想の普及・啓発及び献血者の新規獲得を



目標に「はたちの献血」キャンペーンと連動して実施します。期間中献血会場に一人いっしよにご来場し献血をしていただいた方の中から抽選により栄倉奈々市川由衣の「オリジナルTシャツ」をプレゼントいたします。県民の皆様のご協力をお願いします。
【二】鹿児島県学生献血推進協議会主催「クリスマス献血キャンペーン」
「全国学生クリスマス献血キャンペーン」は全国学生献血推進実行委員会が主催し、同世代である若年層の献血の

輪を広げ、冬季における血液の安定的な確保を目的に昭和六十三年から実施しております。鹿児島県では平成十九年十二月二十三日（日）に県内二会場において鹿児島県学生献血推進協議会のメンバーがサンタクロースに扮装して、道行く人に献血を呼びかけたり、献血にご協力いただいた方へ手作りの「松ぼっくりツリー」や「けんけつちゃんマグカップ」をプレゼントするなど、にぎやかな一日となりました。

「赤十字マーク」は、赤十字活動以外には使用することはできません。

NHK海外たすけあい ご協力ありがとうございました

昭和五十八年に始まったNHK海外たすけあいキャンペーンは、今年で二十五回目を迎えました。過去二十四回で皆さまからお寄せいただいた義援金は、百七十五億円余りにのぼり、世界百八十六か国の赤十字ネットワークを通じて、紛争や災害、劣悪な生活環境などで生命や安全を脅かされている世界中の人々の救援活動に活用されてきました。今回皆さまからお寄せいただいた義援金は、十一月十五日にバンゴラデシユで発生したサイクロンにより被災された方々への復興支援として使

われるほか、スーダン難民への人道支援、南部アフリカ・ジンバブエのエイズ患者及びその家族への支援などに使われます。また、災害や紛争により十分な環境で学べないネパールやアフガニスタンなどの子どもたちのために、文房具やスポーツ用品の配付、学校の井戸やトイレの設置などを行う青少年赤十字の支援にも海外たすけあいの資金が充てられます。
鹿児島県支部では十一月一日（土）、鹿児島市内の金生通りと中町のアーケードにおいて、義援金協力の募金活動を行

いました。当日は青少年赤十字加盟校の生徒並びに赤十字奉仕団員、青年赤十字奉仕団員など約三十名が、元氣良く義援金協力の呼びかけを行いました。
また、八日にはブラッセだいわ鹿屋店（鹿屋市）と川内山形屋（薩摩川内市）で青少年赤十字メンバーが募金活動を行いました。街頭募金活動に参加した鹿屋市立鹿屋中学校二年の小園愛さんは「募金活動をしたのは初めてだけど、声掛けをするのは楽しい。良い事をすると思うと嬉しい。」と笑顔で道行く人々に声掛け



鹿屋市での募金活動の様子（鹿屋市・寿小学校）



多くの方々から義援金のご協力をいただきました（鹿屋市・鹿屋中学校）

善意の高額社資 ご協力ありがとうございました。

厳しい経済状況にもかかわらず、社資にご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。平成19年8月16日から平成19年11月20日までの高額社資（3万円以上）ご協力の方々は下記の通りです。（敬称は略させていただきます。）※掲載につきましては、ご本人さまの同意をいただいております。

- | | | | |
|-------|---------|---------|------------------|
| 【個人】 | 山 幸二 郎 | 野 敏 子 | 鹿児島ウォーターフロント株式会社 |
| 内 山 山 | 豊 秋 義 | 場 政 昭 | 株式会社クッキー |
| 大 山 山 | 影 實 央 | 川 昭 多 | 島津興業株式会社 |
| 勢 田 平 | 勢 哲 義 | 崎 多 津 子 | 新日本石油基地株式会社 |
| 泰 平 永 | 泰 義 文 子 | | 有限会社 西村商店 |
| 鶴 永 義 | 鶴 義 文 子 | | |
| 鳥 飼 茂 | 鳥 飼 茂 | | |